

草津川桐生堰堤(オランダ堰堤) <滋賀県草津川>

【所在地】滋賀県大津市上田上桐生町

【竣工年】1889年(明治22年)

【構造】切石空積堰堤(階段状)

【特徴】淀川上流域の田上山をはじめとする山地は、千数百年以前には一大美林でしたが、宮殿の造営や社寺仏閣の建立のため多量の木が伐採され、荒廃しました。

オランダ堰堤は、明治時代に来日したオランダ人技術者デ・レーケの指導のもとに日本人技師田辺義三郎が設計したと言われており、砂防工事として淀川支川の草津川に築造されたもので、流出する土砂をせき止め、河床を安定させる役割を現在も果たしています。



滋賀県土木交通部砂防課提供



淀川上流域の禿地の状況(田上地区) ※昭和45年撮影